

## 令和3年(2021)7月『川に住む生き物たち』

松子の里では、カエルやオオヨシキリの賑やかな声が聞かれ、メダカが住む田んぼでは、古代米の緑米が青々と成長しています。洞庭湖周辺の遊歩道から憩いの森にかけて、シモツケ、オカトラノオ、ウツボグサなどをはじめ夏を彩る草花も見られます。

松子川の川底を網ですくう生物調べをすると、メダカ、ドジョウ、ヨシノボリ、カワニナ、シジミ、ヤゴなどさまざまな生き物が暮らしていることがわかります。

ヨシノボリは、川や湖に生息するハゼの仲間で、吸盤のような腹びれで川底の石や護岸にはりつき、流れをさかのぼることができます。松子川では、5～6 cmほどの大きさのトウヨシノボリが、川底の石に付いた藻類や水生昆虫などを食べています。

### <問合せ先>

増田 090-8045-0606 小池 070-4027-7098

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！

